

すてっぴ



男性の働き方や暮らし方も、社会の変化とともに変わろうとしています。いまだ「男なら働いて、家族を養うのは当たり前」「弱音を吐かない」等の男性像を決めつけていませんか。社会の求める男性像に苦しみ、生きづらさを抱える男性たちもたくさんいることに目を向けてみてください。

弱者男性 1500 万人時代

トイアンナ著 扶桑社 2024



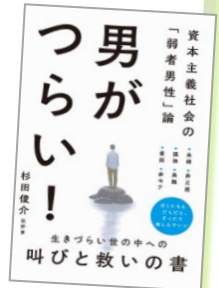
「この世に女性差別があるように、男性への差別もある」。著者の登録した結婚相談所には、年収300万円を下回る男性はいなかった。女性は、年収300万円以下でも登録可能であり、「家事手伝い」と称する無職の女性もたくさんいた。男性は仕事、女性は家事育児ということなのか。低年収の男性が馬鹿にされてきたところをたくさん見てきたという。「弱者男性」とは、いったいなににか。本書は弱者男性に対する誤解を解き、実像を可視化する。近年は、DV被害者の男性も確実に増えている。今後はどういったサポートが必要かを考察。

男がづらい！

杉田俊介著

ワニブックス

2022



若者たちだけでなく、中年男性にも、高齢男性たちにも社会的な弱さを強いられた人がいるはず。孤独感や剥奪感に苦しめられる男性たちがこの世界にはたくさんいるはず。「男のつらさ」ではなく、「男はづらい」でもなく「男がづらい！」。「ぼくたちも、だらだらまったり楽しんでいい」のだ。



大黒柱妻の日常

田房永子著

エムディエヌコーポレーション

2021

現在共働き夫婦は、全体の7割をしめるというが、そんな共働き夫婦を描いたコミック。共働きワンオペ妻が、夫の転職を機に家計の7割以上を担う「大黒柱妻」となり、一気に仕事モードに。夫と妻の立場が逆転して、帰ってきてから子どもを寝かしつけるだけになった妻は、なんてお父さんの役割って楽！と。気がつけば、自分が嫌っていた「昭和の親父」風に…。

それは、「立場」が作り出すものだったのか。

妻に稼がれる夫のジレンマ

小西一禎著

筑摩書房 2024



米国転勤となった妻に同行するため仕事を休職して2児を連れ渡米し、現地で主夫＝駐夫(ちゅうおと：海外駐在員の夫)となった著者。「男は仕事、女は仕事と家事・育児」という固定的な性別役割分担にとらわれていた著者が、男らしさの呪縛からどう逃れ、解放されたのか。経済力のない男は「男」ではない？経済力や社会的立場で妻より劣っていると自認する夫たちにインタビュー。

「男性のための相談」があります！

家庭内のこと、仕事のことなど、一人で悩まず、相談してみませんか？男性の抱える悩みについて相談員がお話を伺います。相談は無料です。

男女共同参画センターえーる



相談日時／第2火曜日午後3時～7時 1回50分以内

相談方法／電話相談 ☎03-3996-9050 予約不要

対象者／練馬区在住、在勤、在学の男性

新着図書紹介



女性政治家が増えたら 何が変わるのか

秋山訓子著
集英社 2025



日本の女性ゼロ議会は、226 自治体もあり、全体の 12.6%を占めているという（2023 年・12 月末）。女性議員の数はまだまだ少ないが、今、変化は起きている、確実に加速して。様々な属性の人が集まって政策を作ったほうが、多様な分野に光が当たり、政策議論も活発になるのではと著者はいう。皆が生きやすい社会を。



翻訳する女たち
中村妙子・深町眞理子・
小尾芙佐・松岡享子
大橋由香子著
エトセトラブックス 2024

遡って江戸時代の「解体新書」からはじまり、明治になるとたくさんの海外文学作品が日本語に翻訳された。翻訳するのはもちろん男性。現在の女性の翻訳家の活躍があたりまえになるまでの道のりとは……。数々の名著を翻訳された方々の人生を読んでみる。追加収録部分の大島かおりさんの言葉「女が女を訳す」が印象的。

障害のある10代のための 困りごと解決ハンドブック

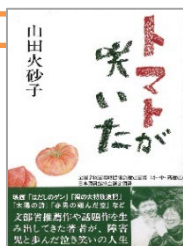
野口晃菜、松波めぐみ編著
現代書館 2025



障害者福祉を考える上で「個人モデル」と「社会モデル」の考え方がある。大切な考え方として、本書は「社会モデル」の考え方を取り入れている。「社会モデル」は、障害のある人が困りごとを抱えるのは、社会の側が障害のある人のことを考えて作られていないからだという考え方。学校、友だち、恋愛、労働など9つのテーマの困りごとに対応。先輩の体験談がきっと背中を押してくれるはず。全頁フリガナ、イラスト付き。

トマトが咲いた

山田火砂子著
現代ぷろだくしょん 2021



映画監督の山田火砂子氏が 92 歳で亡くなりました。「トマトが咲いた」は「2 人の娘を育てながら（長女は知的障害がある）、プロデューサーとして頑張ってきた 29 年間の体験を書いたもの」という。大変な思いをされているのに、どこかおおらかさを感じてしまうのはなぜか。夫を亡くしたあとは自らが監督となり、福祉や女性の自立を扱った作品を多く世に出した。91 歳、最後の作品は、知的障害のある母と健常者の娘との葛藤を描いた『わたしのかあさんー天使の詩』である。

天までのぼれ

中脇初枝著
ポプラ社 2025



高知に生まれ、「民権ばあさん」と呼ばれ親しまれた楠瀬喜多の評伝。夫が病死し、子どもがいなかったために家督を継ぎ戸主となった。納税しているにもかかわらず、女であることを理由に選挙への投票を拒否された喜多は、男女同権と女性参政権について公に訴えて……。「男女同じき権あることは喋々しく言うをまたざる義」とは百数十年前の喜多の言葉である。「男女は平等であり、男女同権は当然のことなのでわざわざ言う必要もない」と。

書 名	著者名	発 行
デジタル遺品の探しかた・しまいかた、残しかた＋隠しかた	伊勢田篤史、吉田雄介	日本加除出版
「死後生」を生きる	柳田邦男	文藝春秋
雨の日の心理学	東畑開人	KADOKAWA
なぜ人は自分を責めてしまうのか	信田さよ子	筑摩書房
わたしが「わたし」を助けに行こう	橋本翔太	サンマーク出版
「記憶」のなかの戦後史	向井承子	フェミックス
教えて！東京労働局さん 働く人の妊娠・出産・育児	経営書院	経営書院
ジェンダーの考え方	池田緑	青弓社
オタク文化とフェミニズム	田中東子	青土社
日本女性のライフコース	樋口美雄 [ほか]	慶応義塾大学出版会
女性から虐待されている男性へ	アン・シルバース	明石書店
アンチ・アンチエイジングの思想	上野千鶴子	みすず書房
ノンバイナリー協奏曲	アミア・ミラー	集英社
ルポ 子どもへの性暴力	朝日新聞取材班	朝日新聞出版
子どもの話をちゃんと聴く。	辰由加	佼成出版社
女の子に生まれたこと、後悔してほしくないから	犬山紙子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
遊廓と日本人	田中優子	講談社
歌舞伎町に沼る若者たち	佐々木チワワ	PHP研究所
やなせたかしの生涯	梯久美子	文藝春秋
彼女たちに守られてきた	松田青子	中央公論新社
傷を愛せるか 増補新版	宮地尚子	筑摩書房
台所で考えた	若竹千佐子	河出書房新社
カフネ	阿部暁子	講談社
ナチュラルボーンチキン	金原ひとみ	河出書房新社
人生劇場	桜木紫乃	徳間書店
月収	原田ひ香	中央公論新社
C線上のエリア	湊かなえ	朝日新聞出版

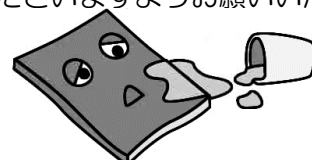


こちらから、蔵書目録や
新着図書一覧がご覧いただけ
ます。
どうぞご利用ください。

図書室からのお願い

本の返却期限をお守りください。
また、汚損された本が多くなってきました。
本を大切に扱ってくださいますようお願いいた
します。

泣いています！



気になる数字

ジェンダーギャップ指数 118 位

世界経済フォーラムが、2025 年版世界男女格差報告書（グローバル・ジェンダーギャップ・レポート）を発表しました。日本は、昨年に続き 118 位で G7 では最下位となりました。

政治分野	0.085
経済	0.613
健康	0.973
教育	0.994

政治分野は、昨年より順位が後退しており、女性首相が過去 1 人も出ていないことも影響しているのではといわれています。1 位は 16 年連続アイスランド、2 位はフィンランドでした。



ジェンダーギャップとは

男女の違いにより生じる格差のこと。男女格差をはかるうえで、指標となるのが、ジェンダーギャップ指数で、「経済」「健康」「教育」「政治」の 4 分野で評価し、国ごとのジェンダー平等の達成度を指数にしている。ゼロ（0）に近いほど、男女不平等の度合いが高いことを示す。毎年世界経済フォーラムが発表している。

関連図書

女たちのポリティクス ブレイディみかこ著 幻冬舎

女は「政治」に向かないの？ 秋山訓子著 講談社

ジェンダー平等を実現する法と政治 辻村みよ子、齋藤笑美子著 花伝社

女の子でも総理大臣になれる？国会への道 辻元清美著 偕成社



* 6 月 23 日～29 日は「男女共同参画週間」です。

今年のキャッチフレーズは “ 誰でも、どこでも、自分らしく ”

図書室利用案内

はじめて本を借りる方は、名前や住所を確認できるもの(運転免許証等)をお持ちの上、利用登録のお手続きをお願いいたします。

貸出冊数	6 冊
貸出期間	4 週間
利用時間	午前 9 時～午後 9 時 30 分まで
休 館 日	年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)、施設メンテナンスの日

練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

〒177-0041 練馬区石神井町 8-1-10

☎ 03 (3996) 9099 (直通)

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html>

